

秋田県における緩和的放射線治療の提供体制に関する 多施設共同・後方視的解析

1. 研究の対象

2023 年 1 月 1 日～2025 年 5 月 31 日に秋田大学医学部附属病院および共同研究機関で骨転移、脊髄圧迫を伴う脊椎骨転移、もしくは、脳転移に緩和的放射線治療を受けた方

2. 研究目的・方法

がんの骨転移や脳転移による症状の改善を目的とした放射線治療（緩和的放射線治療）は有効な治療法として確立しています。緩和的放射線治療を行うためには、専門スタッフ（放射線治療専門医、診療放射線技師、物理士、看護師など）や専用の放射線治療装置が必要であり、秋田県内では10 病院で実施可能です。緩和的放射線治療を受ける患者さんの中には痛みなどの症状のため遠距離の移動が困難な場合もあり、現在の 10 病院の体制で十分な緩和的放射線治療を提供することができているのか解析が必要と考えました。

この研究では、秋田県内で過去に骨転移あるいは脳転移への緩和的放射線治療を受けた患者さんの緩和的放射線治療の実施状況（診断から治療開始までの期間、治療内容など）を、カルテや放射線治療計画情報から確認することで、秋田県における緩和的放射線治療の提供体制を明らかにすることを目的とします。

研究実施期間：研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：研究実施許可日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：治療時の年齢、性別、診断名、診断日、診察所見、放射線治療の診察日・開始日・線量・回数・完遂有無、放射線治療前後での使用薬剤 等

試料：使用なし

4. 外部への試料・情報の提供

秋田大学医学部附属病院の情報を、共同研究機関を含めた外部に提供することはありません。

共同研究機関は、研究に要する情報を、秋田大学医学部附属病院の研究代表者に提供します。共同研究機関が秋田大学医学部附属病院の研究代表者に情報提供する際には、個人が特定できないよう氏名等を削除し、パスワードを設定した Excel 形式データファイルを電子的配信にて受領します。対照表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

- ・秋田大学医学部附属病院 研究責任者：和田優貴
- ・厚生連秋田厚生医療センター 研究責任者：戸嶋雅道
- ・厚生連大曲厚生医療センター 研究責任者：安倍明
- ・厚生連能代厚生医療センター 研究責任者：金子大輔
- ・厚生連 平鹿総合病院 研究責任者：伊藤健
- ・厚生連 由利組合総合病院 研究責任者：菅原康紘
- ・市立秋田総合病院 研究責任者：橋本学
- ・秋田赤十字病院 研究責任者：渡邊磨

- ・大館市立総合病院 研究責任者：小畑学
- ・明和会中通総合病院 研究責任者：加藤勇人

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：

大館市立総合病院 放射線科 技師長 小畑学

住所：秋田県大館市豊町3-1

電話：0186-42-5370

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

大館市立総合病院

放射線科部長 和嶋 直紀